

ことばの花束2020

bouquet of literature

SPECIAL LITERARY EXHIBITION OF NOVELIST AND ARTIST-LOVED KARUIZAWA
FRIDAY 24TH APRIL TO MONDAY 13TH JULY,

軽井沢の豊穡な文学世界を浅間山麓の自然の中で、お愉しみいただけます。

どこへ行っても野薔薇がまだ小さな硬い白い蕾をつけています。その咲くのが待ち遠しくてなりません。これがこれから咲き乱れて、いいにおいをさせて、それからそれが散るころ、やっと避暑客たちが入り込んでくることでしょう。

堀辰雄『美しい村』より

ノイバラ

軽井沢を愛した文学者・芸術家たちスペシャル展

2020年4月24日（金）～7月13日（月）※会期中無休 9:00～17:00

日本の中の西洋であった軽井沢は、明治以降、多くの文学者・美術家らにより文学作品や美術作品に描かれてきました。本展では、「ことばの花束2020～軽井沢を愛した文学者・芸術家たちスペシャル～」展と題して、軽井沢で創作活動を行った文学者が当地を舞台に描いた詩・小説・戯曲・俳句・短歌・随筆から、私たちの心に響く“ことば”を集め、花束のようにしてご紹介します。肉筆資料、著作、初出紙誌、絵画等約 200 点を展示します。

また、今回は、本年が生誕100年の芥川比呂志、生誕130年の岸田國士、没後90年の内村鑑三の小コーナーを設けます。

紹介作家（予定）：有島武郎、正宗白鳥、室生犀星、芥川龍之介、片山廣子、北原白秋、萩原朔太郎、志賀直哉、与謝野晶子、野上弥生子、岸田國士、中西悟堂、寺田寅彦、川端康成、堀辰雄、立原道造、津村信夫、芹沢光治良、阿部知二、円地文子、吉川英治、井上靖、芝木好子、壺井栄、中野重治、佐多稲子、大原富枝、小島信夫、中村真一郎、福永武彦、加藤周一、加藤道夫、後藤明生、辻邦生、北杜夫、矢代静一、なだいなだ、岸田衿子、谷川俊太郎、武満徹、三善晃、オノ・ヨーコほか。

イベント

●2020文学散歩①「新緑の旧軽井沢を歩く～犀星、龍之介、康成、辰雄らの足跡を訪ねる～」

5月23日（土）13:00～14:30

大正末から昭和20年代頃にかけて、旧軽井沢に足跡を残した、室生犀星、芥川龍之介、川端康成、堀辰雄、片山廣子ら文学者のゆかりの場所をご一緒に探索します。

料金：一般1500円、友の会会員1000円（資料代込）

定員：15名 ※要予約 案内：当館学芸員

星野・旧軽井沢の軽井沢観光会館に13:00集合



過去の旧軽井沢文学散歩の様子



ご予約

○イベントのご予約は、次のEメール、FAX、電話にてお受けいたします。

E-mail: kogenbunko@yahoo.co.jp

FAX:0267-45-6626 TEL:0267-45-1175

【交通】

◀鉄道>>軽井沢（JR北陸新幹線/しなの鉄道）または中軽井沢駅（しなの鉄道）下車

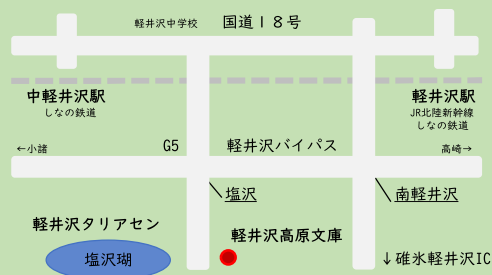
タクシー約10分、町内循環バス「塩沢湖」から徒歩約1分または「風越公園」から徒歩約12分

◀自動車>>上信越自動車道「碓氷軽井沢I.C.」から約15分または「小諸I.C.」から約30分

Traffic(train): 10 mins. from St. Karuizawa or St. Nakakaruiizawa by taxi

1 min. from Shiozawako Bus Station or 12 mins. from kazakoshikouen Bus Station by Walk

Traffic(car):15mins.from Usui Karuizawa IC or 30 mins. from Komoro IC of Jousshinetsu high way



軽井沢高原文庫

THE LITERARY MUSEUM OF KARUIZAWA

入館料：大人800円 小中学生400円

（入館料には堀辰雄 1412 番山荘、有島武郎別荘「浄月庵」、野上弥生子書斎の見学も含まれています。）

長野県北佐久郡軽井沢町長倉202-3 TEL0267-45-1175 <http://kogenbunko.jp>